

第92号

し ら さ ぎ

就任のご挨拶

丹後大宮福祉会理事長

石河 良一郎

うらかな春を迎え、関係各位におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、丹後大宮福祉会の事業運営に多大なるご支援・ご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成26年12月22日に開催されました本法人理事会におきまして、前理事長吉岡「男」氏の後任として、若輩ながら理事長に就任いたしました。我が国の社会福祉が大きな変革期を迎えているこの時世に理事長の職に就くにあたり、その責務の重さを痛感しておりますが、役員・職員の皆様のご理解・ご協力を頂きながらその責任を全うしたいと考えています。

当法人は、昭和59年12月に法人認可を受け（社会福祉法人丹後更生センター）、昭和60年4月には法人として最初の事業である知的障害者更生施設（現障害者支援施設）「あゆみが丘学園」を開所いたしました。

その後、平成9年1月に社会福祉法人丹後大宮福祉会と法人名の変更を行うと共に、平成11年4月からは介護老人福祉施設「おみや苑」を開設し、介護老人への各種サービスは充実した事業内容を整備し、地域に根ざ

した信頼できる施設として今日に至っています。

丹後大宮福祉会は、障害者支援施設「あゆみが丘学園」と介護老人福祉施設「おみや苑」と二つの施設を運営していますが、両施設とも順調で健全な施設運営・経営がなされておりました。このことは偏に役職員の皆様のご努力のお陰だと感じております。

前述しましたように障害者支援施設「あゆみが丘学園」は開設以来30年を経過し、施設設備の老朽化が進んでおり、また利用者の皆さんの高齢化・重度化が顕著になっていくことから、より快適な環境整備が喫緊の課題となつてきています。このような中、施設を今後継続使用する上で耐震化整備が必要な現状にあり、利用者の安全確保の観点からもバリアフリー化の推進は必須の課題でもあります。また、利用者の皆さんの居室に9室の4人部屋があり、本館利用者の約半数の方が不便な生活を余儀なくされ、個々のプライバシーの保護を考えた時、現在の生活様式からも大きく遅れた施設となつていきます。

こうした現状を鑑み、昨夏以来、京都府へ繰り返し要望・陳情活動を重

ねてきました。結果、国・府の補助金を受けて耐震化工事を進めることができることになりました。併せて、利用者の居室が不足することから増築工事を行うと共に、ゆつたりとしたデイルームを配置し、トイレ・浴室等の改修をしてより快適な生活空間を確保し、さらに老朽化した設備の更新も一部進めたいと考えています。3月中の入札・契約を経て、4月より本格的に工事に入り、補助金対象工事は9月完成の予定です。

ちなみに、この「あゆみが丘学園耐震化・増改築整備工事」の事業費総額は4億5千万円程度を見込んでおり、内補助対象工事は約2億円、補助額は約1億5千万円を予定しています。

非常に短い限られた期間の工事ですので、利用者の皆さんには不便をお掛けし、迷惑をお掛けすることになります。無事故のうちに竣工できまよう願っています。

そして、施設理念であります利用者さんの安全な生活を保障し、安心して生活できる施設であるために、また安楽な生活を送れる施設としてあるための施設整備に、ご配慮を賜りました京都府当局に衷心より感謝申し上げます。

末筆ながら、障害者支援施設「あゆみが丘学園」に對しまして、益々のご理解・ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

クリスマス会を終えて

生活支援員 増田 由巳子

12月19日金曜日。数日前に積もった雪も気にならないくらい良い天気恵まれました。「寒くならなくて良かった」と安心したのを覚えています。

今回のクリスマス会は、初めての試みで昼食時の会食です。本館とブナの木に分かれてになりましたが、夜勤明け入りの職員以外の全員が参加出来、同じ時に同じ食事をする計画されました。多人数になりましたが、厨房さんには早朝から手作りの豪華な食事を作ってもらったおかげです。ありがとうございました。各ホームに分かれて、利用者さんと担当職員でいつもより密着した時間が過ごせた様に思いました。



まだまだ楽しみの時間は続いたのですが、思えば利用者さんから本館の中庭に出現したイルミネーションが完成した時に「見て見て」とか「きれいだよ」などいっばい声を掛け



て頂きました。男女問わず自慢気であった事を思い出しました。ブナの木も、夕食時には通路に飾られた三色の「光」を眺めながら何日も過ごし、待ちに待った日が来ました。私は、午後

はブナの木へ戻りましたが、ステージでも本館とブナの木に分かれたので同じ物を2回して頂く事になりましたが、唄あり踊りありで笑いに包まれました。クリスマスソングを歌好きの利用者さんが口ずさんでおられたり、あまりの迫力にびっくりしたりでしたが、アンコールも快く受けて頂きました。ステージを盛り上げて頂いた職員の皆さんへ苦労様でした。プレゼント渡しでは、初々しい可愛いサンタクロースが現れ、お気に入りのプレゼントに「満面の笑み」の利用者さんでした。最後に、初めてクリスマス担当となり、経験不足の私を指導頂きありがとうございました。感謝致します。利用者の方々の皆さんとの関わり、支援の色々を感じましたし、今後も笑顔で大切にしたいと思います。

新年会

生活支援員 藤村 秀平



新年早々、大雪に見舞われましたが、新年会当日は雪がパラパラと降る程度で無事に開催する事が出来ました。早速、新年会当日のお話

をさせていただきたいと思えます。新年会の「目玉」といえば、やはり豪華な昼食ですね！巻き寿司や、お刺身、正月を感じさせる食べ物、デザート等、厨房さんに思考を凝らして作って頂きました。味はもちろん、見た目もバッチリでお腹いっぱいになりました。おいしいご飯を皆で囲んで食べると、自然と笑顔もこぼれ、話はずんずんだったのが今でも鮮明に思い出します。「目玉」として豪華な昼食を挙げましたが、もうひとつ「目玉」があるんです。それは、リハビリ室で行われるステージ発表です！内容としては、厄払いから始まり、各ホームの抱負、利用者のご自慢大会、大トリは職員の出し物となっております。盛りだくさんです。利用者のご自慢大会では、各ホームで歌う曲を利用者



無事に終了しまして本当に一安心しました。また、来年度の新年会も今年以上に盛大に盛り上げて行きたいと思えます。



利用者さんに何かあれば、緊張し慌ただしい現場になります。何れも実技訓練をおこなうことによつて、より早く医療につなげようとする努力をしています。

救命救急講習について



支援部部长 谷口 宗浩

あゆみが丘学園では、全職員を対象に救命救急講習を実施しています。京丹後市消防本部より、救命救急士さんを講師として招き、普通救命救急講習として、講義から実技訓練まで、みっちり3時間を受けます。近年は、利用者さんの高齢化、重度化の中には常の様子観察が必要な病気に罹患されている方もあり、昼夜を問わず見守りが欠かせません。また、食事の喉詰り、誤嚥など様々に起こる不測の事態に対応する為、日頃の準備や吸引器・AEDの設置など環境整備にも配慮しています。自身の経験からお話すると、心肺停止状態の利用者さんを発見し、直ちに心肺蘇生法の手順にそつて心臓マッサージ(胸骨圧迫)、AEDの装着、救急車手配など他の職員さんと連携しながら何とか対応したということもありました。

節分

支援部主任 井戸本 佳奈



「おには〜そと ふうは〜うち」今年も何やら奇妙なお二、怖ろしいお二、可愛らしいお二、などあゆみが丘にやってきました。

「みなさん、今からお二がやってきますよ〜」のかけ声とともに、「豆を握りしめて待ちかまえます。ドンドンと鳴りものの音が近づくにつれ大きくなり、「さあお二がきた〜」と、これぞとばかりに何かに取りつかれたように豆を投げつけました。みなさん、これほどの力があつたかのように、自然に身体が動き出し、夢中でお二を追いかけてます。お二は逃げ回り、豆を投げられず一緒に走り回る人や、見ている人も、大興奮。



いつの間にかお二は、汗びっしょり。みなさん、暖かくなったでしょう。ふと気が付くと、福の神がいない。忘れてしまい、ご勘弁下さい。豆まきが終わって、おやつは甘納豆でみんなご息入れしました。今年もたくさん笑い、楽しく元気に過ごせますように。みなさんのご多幸をお祈りします。

この三年間、日中活動の二環として、野村恭子氏(峰山町)にお世話になりました。大正琴レクレーションを続けていただきました。毎月第2、4金曜日の午前、会議室に約十数名の利用者の方々が一緒に演奏したり歌ったりといつとは違った楽しい時間を過ごしました。いつも、笑顔で声を掛けてもらい参加されていた利用者の方、本当に楽しそうでした。

残念な事に、4月より始まる大規模な改修工事により、この間の日中活動が大幅に変更となり、大正琴レクレーションを終了させていただきます。長い間、本当にありがとうございました。



平成27年度ホーム担当

かえでホーム (4名)	もみじホーム (4名)	わかたけホーム (4名)	まつのきホーム (3名)	かすみ草ホーム (3名)	たんぽぽホーム (3名)	すみれホーム (4名)	しらかばホーム (6名)	コスモスホーム (6名)
○永岡宏文・奥田大介 上田澄代・齋藤幸子	○牧野武範・藤村秀平 中村朋子・片岡倫子	○井上俊文・吉田雄三 (安里仁美)・田中静	○中西政博・中西盛人 野木美春	○岡田文江・井田孝茂 末富元子	○井戸本佳奈・牧野愛里 (伊藤ゆかり)	○中西ひとみ・倉橋杏奈 西村美穂・藤村文美	○井戸本博・藤田泰弘 富田圭介・相見八重香 横谷慶子・仙頭由起子	○松崎美紀(小幡江里) 吉田あかね・永岡直子 増田由巳子・牧川恵

※○はリーダー ※()は育児休暇中

お知らせ

【新入所者紹介】

◎橋田里美さんが平成27年2月1日に入所されました。

【逝去】

◎岡本篤さんが平成26年12月31日にご逝去されました。

◎山口孝一さんが平成27年3月1日にご逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

職員異動 平成二十六年十一月十六日、平成二十七年二月二十八日

【新職員】

◎西村美穂さんに平成27年1月1日より生活支援員をお世話になっていきます。

【退職】

◎山口暢康さんが平成27年2月28日付けで退職されました。

【結婚】

◎吉田雄三さんと大下あかねさんがご結婚されました。

◎中西盛人さんがご結婚されました。

【出産】

◎安里仁美さんに男の子が誕生しました。

◎小幡晃己さん、江里さん夫婦に女の子が誕生しました。

新人職員紹介

生活支援員 西村 美穂



平成二十七年二月から、お世話になっております、西村美穂です。

平成二十六年十二月まで特別養護老人ホームで介護士として働いていました。

障害者施設にもヘルパーとして少し働いたことがあります。老人施設とはちがいが、経験は浅く、全くの素人です。

なぜ障害者施設へ勤めようかと思つたかは私自身の福祉の視野を広げ、色々な事を勉強したい、今からでも(今の歳でも)何とか頑張れるのではないかと思つたからです。

私は、身体が大きく、元気で、明るいのが取り柄です。

子育て真っ只中で、家庭と仕事を両立しながらではありますが、頑張つていきたいと思つています。

学園がいつも明るく、皆様が元気で過ごせる様に勤めていきたいと思つています。

どうぞ、よろしくお願ひ致します。



リサイクル作業

(アルミ缶・銅線・フルトップヘルマーク・古紙回収)の協力いただいた方



平成二十六年十二月一日、平成二十七年二月二十八日 (敬称略)

安達良史、安達酒店、安達電気、新井孝弘、芦田完二、五十嵐屋商店、生野電気、石河侑、いととめEAT店、稲岡嘉郎、稲岡晴子、井野建設、岩佐利夫、今西久野、梅田歯科医院、エナジールランド大宮、えびす電気工事店、エルクラブ・オオミヤ、大宮北保育所、大宮第一小学校、大宮第一小学校PTA家庭教育委員会、大宮南保育所、岡島三協製作所、岡田喜美子、オキノ電機、お茶のみ友だち、小笹フサコ、掛津区観光部、金子産業(株)、京都日産自動車(株)、小池食料品店、河野哲朗、小西デンキ、コマキデンキ、米トウtail、後藤鉄工所、笹岡昭義、笹岡儀和、サニアイランド、シラキ(株)、末次電気商会、玉木明司、大同享子、大同宏子、高田暁美、でんき館やました、西田建設、西原謙次、畑中酒店、林範尚、番場電気商会、日達利雄、平井電気、フリーク、フルーツ王国やさか、堀敏雄、堀博昭、堀保彦、堀江栄志、堀鉄工所、ホリロク(株)、マジカル、まるぜん書店野田川店、まるぜん書店加悦店、水口進、峰山鉄工所(株)、宮尾倍行、村井春雄、矢野辰雄、矢野博、ヤマモト電化サービス、由利徳七、よざ電工(株)、吉岡電気工業、吉田電気商会、吉村食料品店、(株)吉岡設備、(株)吉岡商店、(株)ルコモコ、ローソン大宮町周

事務だより

平成二十六年十一月十六日、平成二十七年二月二十八日 (敬称略)

(敬称略)

【寄贈】

家城邦子、今井久男、大河和子、大西勲、竹内千鶴子、田畑嘉一郎、(株)玉岡、丹後大宮ゆう薬局、豊嶋知加子、中井律子、農協観光有本、野村芳昭、藤田進、安田邦好、山岡義信、山口勇(株)ゆう建築設計事務所

【寄付】

高橋正代、野村敏之

編集後記

大江山 生野の道に 陽は戻り 待ちに待った春が五十河の野や山に巡ってきました。路傍には露の臺、川べりには土筆が顔を出しています。冬にはできなかった活動が頭の中には次から次へと浮かんできます。

